

イラク後送業務隊の活動報告



18. 8. 27
イラク後送業務隊

イラク後送業務隊活動報告 (8月27日)

1. 人員・装備の状況

○ 人員・装備：異状なし

2. 27日(日曜日)の活動

区分	業務内容
コンテナ作成	8月23日をもって終了
洗車	8月21日をもって終了
後送業務	<p>○ シュワイバ港からコンテナ船によるコンテナ113本(実86、空27)の後送(8月30日予定) <i>9月下旬 横浜到着予定</i></p> <p>○ シュワイク港からチャーター船によるコンテナ168本(実73、空95)及び車両85両の後送(9月5日予定)</p> <p>○ ムバラク空港からチャーター機(アントノフ)によるWAPC7両等の後送(9月5日予定)</p>
その他	<p>○ 10次群長から補統への物品の異動に伴う証書の作成</p> <p>○ 不用品廃棄に関する役務監督・検査</p> <p>○ 倉庫及びPWC洗浄施設の撤収業務</p>
撤収・帰国業務	<p>○ 使用施設の撤収準備(4名) ORSU部隊隊貨の整理・梱包(43名)</p> <p>○ 不用品等の集積・処分(2名) ○ 帰国行事準備(20名)</p> <p>○ 別紙第1「RSU全般業務予定表」</p>
その他	<p>○ 大使館意見交換会</p> <p>○ 別紙第2「RSU活動状況(8月27日)」</p>

KWからの装備品等の後送状況把握（全体像）

コンテナ

KWから本邦へ後送するコンテナ総数【581本】			
コンテナ詰め数【286本】		空数【295本】	
終了【286本】 (100%)			
後送済 【136本】		後送済 【60本】	

車両

KWから本邦へ後送する車両総数【224両】	
洗車終了【224両】 (100%)	
後送済 【132両】	

3

3 後送業務の進捗状況

8月27日末現在

区分	計画		実績 (c)	進捗度		残数	備考
	総数 (a)	当該日迄 (b)		総数比 (c/a)	計画比 (c/b)		
コンテナ	開梱 (コンテナ数)	337	—	337 【0】	100%	—	0
	コンテナ詰め (点数)	99,464	—	99,464 【0】	100%	—	0
	後送 (点数)		46,748	46,748 【0】	47%	100%	52,716
車両	洗浄	224	—	224 【0】	100%	—	0
	後送		132	132 【0】	58.9%	100%	92

※ 点数については、弾薬を除いた点数
【 】内は当日の実績で内数

4

4. 28日(月曜日)の活動予定

区分		業務内容					
後送業務	コンテナ作成	8月23日をもって終了					
	洗車	8月21日をもって終了					
	本邦後送		時期	手段	発地	後送品	状況等
		1	8月30日	コンテナ船	シュワイバ港	コンテナ×113本 (実86、空27)	22日:40本搬入済み 23日:46本搬入済み
		2	9月5日	チャーター船	シュワイク港	コンテナ×168本 (実73、空95) 車両×85	搬入前日に■■■■に配列 29日:20本、34両搬入 29日:20本、32両搬入 30日:18本、19両搬入
3	9月5日	チャーター機 (アントノフ)	ムバラク空港	WAPC×7	搬入待ち (通関書類等準備中)		
その他	○10次群長から補統への物品の異動に伴う証書の作成 ○不用品処分に関する役務監督・検査 ○■■■■倉庫及びPWC洗浄施設の撤収業務						
撤収・帰国業務	○使用施設の撤収準備(4名) ○RSU部隊隊貨の整理・梱包(12名) ○不用品等の集積・処分(2名) ○帰国行事準備(44名)						
その他	○帰国行事						

5

6. 日々ミーティング

- 治安情勢:別紙第3「クウェートの治安状況等(8月27日)」
- RSU長指導事項
 - 一 本日、意見交換会に先立って、大使を表敬した際、大使から「今の若い人は、だめだという人もいるが、自衛官は、やる気があり誠実で国家のために尽くしている素晴らしい若者である。国際貢献により多くのことを学び、経験したことを今後を活かし大きく成長してもらいたい。」とのお言葉を頂いた。今後我々は、今までの経験を生かしつつ、更に発展できるように最後まで頑張ろう。

RSU全般業務予定表

別紙第1

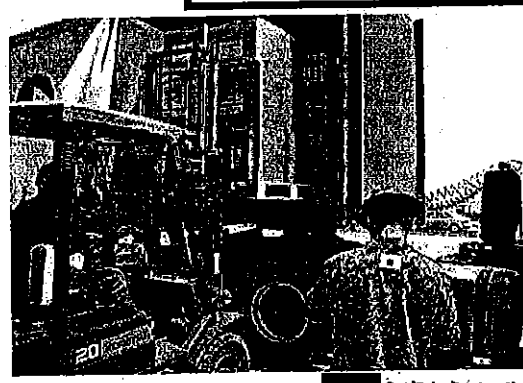
月	8月										9月							
	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	
全般	コンテナ詰め終了 ※車両洗浄は21日終了済み #4コンテナ輸送 (113本) 民間貨物機 チャーター船発 コンテナ(168本) 車両(85両) 撤収作業終了																	
後送業務	コンテナ輸送	シュワイプ搬入																
	貨物機輸送	鉄道・陸運、役務調整会議、パレット化等、ムバラク搬入・搭載(20名) 鉄道																
	チャーター船輸送	コンテナ・車両のシュワイプ搬入(日々16本) ● コンテナ・車両搭載(日々3名)																
	異動票等の作成	10次時から補導への移動表作成(予定22日8分)																
RSU撤収業務	使用施設の撤収	指揮所・会議室・検閲室・センター・SW班及(1KW)撤収作業																
	レンタカーの返納	通信機																
	部隊隊貨の梱包等	部隊隊貨ポールの(約650個)の整理梱包																
	不用品等の集積・処分	#1処分(後送品) 処分品集積(RSU分) #2処分(RSU分)																
	衛生教育・帰国前教育	衛生教育(1日) 帰国前教育(年間) チーム突入 帰送業務に係る要員 主力																
	個人コンテナ・衣のう	私物品の整理・個人コンテナ等のリスト提出 鉄道・F倉庫搬入・ムバラク搬入 個人コンテナ搬入(約5回)																
帰国行事等	帰国行事準備 帰国行事実行 帰国行事 隊長・駐軍等の挨拶回り																	
活動成果報告作成	日報作成 日報提出 #3検討会 報告書作成 補給修正																	
米軍・大使館等との調整	ムバラク搬入に関する調整・各検務室の撤収																	
帰国便に関する調整	帰国便に関する調整・米軍調整 #1検討会 #2検討会																	

◎新田 第1 8月28日00時 第2 8月28日00時

凡例: ●は終了時期

RSU活動状況 (8月27日)

別紙第2



倉庫からファルアニア倉庫への隊貨の輸送



部隊隊貨の整理

クウェートの治安状況等 (8月27日)

区分	内容	備考
クウェートの治安状況等	1 在クウェート日本大使館等 警戒情報 (1) 警戒レベル : ██████████ (2) 日本国外務省渡航安全情報:クウェート全土「十分注意」(N/C)	N/C
	2 クウェート市内外の状況 RSU宿泊場所等活動地域:異常なし。	N/C
気象	3 クウェート国内での車両運行に及ぼす影響 交通事故は、ほぼ連日発生している事から車両運行時、特に次の点に注意 (1) R6, R40上の速度超過による追突事故、突発的な歩行者の横断 (2) 前方走行するトラックのバーストによるタイヤの飛来(7月以降は、道路の高温に加え、ほとんどのトラックは再生タイヤ着用のため、タイヤはバーストしやすい状況) (3) ロータリー交差点の進入・進出及び測道から本線への進入時	N/C
	4 宿泊場所等での活動に及ぼす影響 クウェート全土で反米勢力がテロを敢行する可能性は排除できず、宿泊場所及び████████倉庫等への移動間は警戒する必要がある。	N/C
	5 その他 イラク・クウェート国境付近での銃撃事案について(続報)	8/27追加
	1 天気:晴れ 湿度21% 2 活動地域の温度 :最高・49°C(前日比-1°C) 最低・36°C(前日比-1°C) 3 今後、晴天が続く。30~31日にかけて風が強くなり砂が舞うと予想。 (アリアルサラム空軍基地 空自 気象班情報)	8/27確認

付紙

イラク・クウェート国境付近での銃撃事案について(続報)

【趣旨】

クウェートタイムス及びクウェートのローカル新聞(8.27付)にイラク・クウェート国境付近の銃撃事案について続報が掲載されたところ、紹介するもの

【KUWAIT TIMES 記事概要】

- 1 月曜の銃撃事件は、一連の衝突のつい最近の事件に過ぎない。
- 2 ここ最近の国境付近事案
 - (1) 21日：7~8名の身元不明者によるクウェート国境警備兵に対する銃撃発生。イラク側から国境のフェンスが15m切断されているのを発見
 - (2) 2~3日前：クウェート国境警備は国境を違法に越えようとした数名のイラク人を逮捕(細部情報収集中)
- 3 Al-Tabtabae国会議員の主張

ア イラク政府はイラク自身の町をも守れないのに国境を管理することは不可能
イ 米軍及び英軍からなる数千の連合軍がクウェートに駐留しており、彼らがイラクで活動するためにクウェートは重要な兵站基地としての役割を果たしている。
このため、米軍・コアリションはクウェートを守る義務がある。

イラク・クウェート国境付近での銃撃事案について(続報)

4 銃撃事案発生の背景の分析

逮捕されるリスクを負ってでも、イラク人がクウェート側へ越境する理由

- (1) イラク人の平均年間収入は、クウェートの1ヶ月分のアパート代よりも低く
150~175KD(約6万円~7万円)と極めて低いから

参考1) クウェートの出稼ぎ労働者の年収平均:約290万円 (アラブタイムス)

参考2) 1人あたりのGDP比較 イラク 1600ドル

クウェート 61469ドル

(情報源: 外務省ホームページ)

- (2) イラクにおいては、男も女も子供も安全ではなく、学校の先生から公務員、医者まで誰でもが潜在的攻撃目標。よってイラク人はクウェートで犯罪を行うためやクウェートの安全を脅かすためにイラクを出るのではなくイラクでの生活が怖く、彼らは生き延びて家族を守りたいだけ。
- (3) クウェートとイラクの国境は、約240Kmあり、効果的に警備するのは不可能
- (4) 国境はクウェートとイラク間の残存する敵意の発火点。外向的な緊張緩和にもかかわらず、クウェートとイラクはお互いに不信感と脅威を保持。
国境は依然として両国の不和と不信の象徴。

11

イラク・クウェート国境付近での銃撃事案について(続報)

【Al-Anbaa(ローカル新聞)記事概要】

- 1 クウェート国境警備局長“Brigadier Abdullah Al Mohana”は銃撃事案の背景等を話し合うため、イラク側担当者と土曜日に会合
- 2 再発をイラク側が約束し、両国が国境の状況について再調査を実施
- 3 イラク側は公式に、銃撃あった場所は、イラク国境関係職員が密輸が行われていた場所と発表
- 4 国境警備局は銃撃後、破壊された2国間の国境フェンス15mを修復

【Al-Sevassah(ローカル新聞)記事概要】

- 1 国境警備局はどのような非常事態にも対応できるよう確認するため、土曜日に非常呼集を実施した。
- 2 警備局関係者は「イラクとの北部国境(約240Km)の巡察の増大を指摘、これまで定時2回の巡察を4回に変更